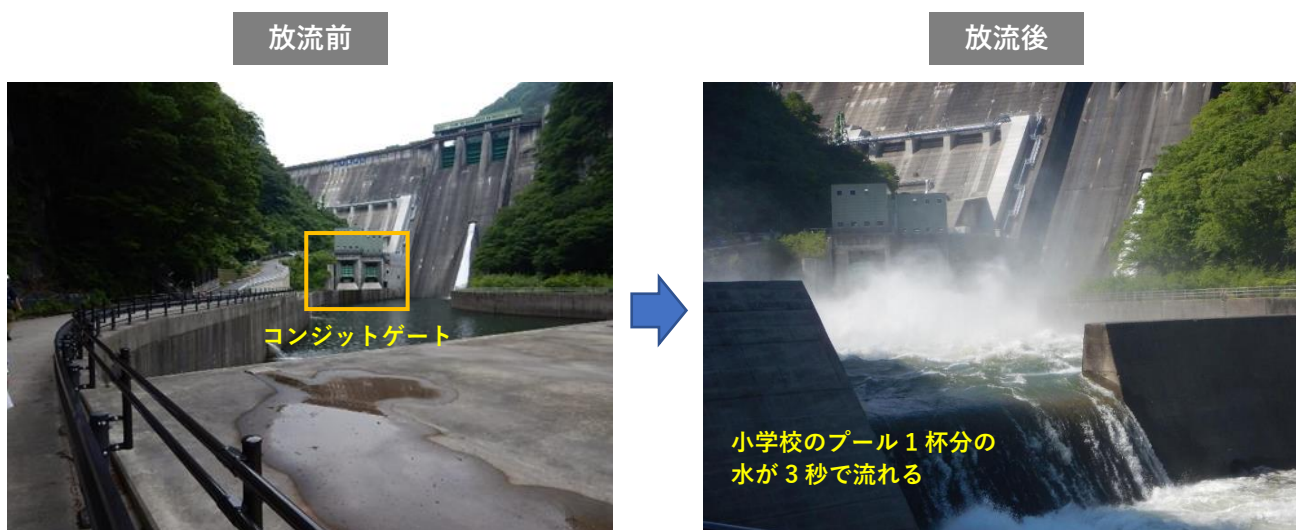


## ① 環境放流とは

### ■ 環境放流について

ダム下流域の河川環境を、より自然な状態に保全する目的で行う放流を フラッシュ放流 といい、五十里ダムでは 環境放流 と称しています。

五十里ダムでは、鬼怒川本川との合流部までの男鹿川（約 2km）の河川環境改善を目的として、平成 9 年度から環境放流を行っています。放流は 3 月～11 月までの間に月 1 回行われており、ダム下部のコンジットゲートからは最大  $100\text{m}^3/\text{s}$ （小学校のプール 1 杯分の水が 3 秒で流れる量）の水が流れます。



《環境放流時のダム直下》



《川治温泉街（薬師橋付近）》

## ■環境放流見学会の見どころ

### 《ゲート開放の様子》

環境放流は、ダム下部のコンジットゲートから放水されます。

スローモーションのようにゲートが徐々に開き、大量の水が放出されていく様子はまるで映画のワンシーンのようで、本見学会ではこのゲートを近くで見ることができます。



### 《日本最大級の放流量》

コンジットゲートが開放されると、放流される水の量は最大 100m<sup>3</sup>/sにもおよび、減勢池の中はまるで嵐の海のようなようです。

有名な黒部ダムの観光放水は 10 m<sup>3</sup>/s 程度、宮ヶ瀬ダムでも 30 m<sup>3</sup>/s 程度であり、これらを超越する放流量です。



R2 年実施時の映像 ※外部サイト

[2020（令和2）年度 五十里ダム環境放流見学会 - 国土交通省 鬼怒川ダム統合管理事務所 - - YouTube](#)

## ② 環境放流の見学場所

### ■見学エリア（予定）



### ■集合場所について

集合場所：東武鉄道鬼怒川温泉駅 駅前広場

- ・ 見学場所まで無料送迎バスに乗りいただきます（所要時間約 20 分）。

【参考】東武鉄道・北千住駅からの場合

■往路

北千住駅発 11:12  
リバティ会津 119 号・会津田島行  
鬼怒川温泉駅着 13:05

■復路

鬼怒川温泉駅発 16:04  
特急リバティ会津 142 号・浅草行

